

ひろしまの 土地改良



2023年 第273号



未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2022 やまびこ賞
「ぼくのトマト畑」 平櫛 結士（杉原学園 松永幼稚園）

未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2023

作品
募集

あなたの絵で農業や農村、はたらく人、大切な水路を守る人のすがたを伝えてください。受賞作品は、12月5日（火）～11日（月）に東京都美術館において展示します。たくさんのご応募をお待ちしています。

応募資格 小学生以下

応募期間 2023年7月20日（木）～9月8日（金）

応募先 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階
全国水土里ネット内 未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2023 事務局
TEL：03-3234-5480 FAX：03-3234-5670 E-mail midorinet@inakajin.or.jp

お問合せ先 全国水土里ネット土地改良広報センター TEL 03-3234-5480



詳細は、全国水土里ネット HP をご覧ください。 QR コードからどうぞ ➡



農業農村整備の集い

令和5年6月15日(木) 東京・平河町のシェンバハ・サボーにおいて、令和6年度当初予算の確保に向けた「農業農村整備の集い」が開催され、農林水産副大臣をはじめ、衆参両院の国会議員、全国の土地改良関係者約1,000名が参集しました。

開会にあたり、全国水土里ネットの二階俊博会長が、「予算確保に一致団結して取り組む。『闘う土地改良』は限りなく続く。さらなる闘いを続けるようお願いしたい。」と呼びかけられました。

続いて、勝俣孝明農林水産副大臣他、多くの来賓の方々が祝辞を述べられました。

財務省や農林水産省に対する要請文が満場一致で採択された後、盛会のうちに「農業農村整備の集い」は閉会しました。



広島県農地・水・農村環境保全協議会総会 開催

令和5年4月25日(火) 土地改良会館において、広島県農地・水・農村環境保全協議会総会が開催されました。多面的機能支払交付金(農地維持支払・資源向上支払)事業の、より一層の推進を図るため、以下の議案が承認されました。

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和4年度事業報告及び収支決算について |
| 第2号議案 | 名称変更に伴う協議会規約並びに規定の改正について
・ 協議会の名称変更
旧名称：広島県農地・水・農村環境保全協議会
新名称：広島県多面的機能支払協議会 |
| 第3号議案 | 令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について |
| 第4号議案 | 新年度の役員について |



国立大学法人広島大学へ 「つなぐ棚田遺産」感謝状が贈呈されました。

令和5年3月9日（木）に農林水産省農村振興局で開催された「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈式では、全国で39団体の取組みが表彰を受けました。

広島県では、安芸太田町に存在する井仁の棚田における取組み（地域住民との交流、棚田研究など）が評価され、国立大学法人広島大学が「人と人をつなぐ」部門において表彰されたことに伴い、感謝状を安芸太田町及び『井仁の棚田』から贈呈されました。



※「つなぐ棚田遺産」感謝状とは

農林水産省農村振興局の取組みとして、棚田地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、棚田地域の振興等に貢献する企業・大学等の取組みを評価し、優れた取組みを実施する企業等に感謝状を贈呈させていただく取組みです。「未来へつなぐ」部門、「人と人をつなぐ」部門、「クリエイティブ」部門の3つの部門に分けて、棚田からの感謝をお伝えします。



※井仁の棚田とは

井仁の棚田は、平成11年7月に農林水産省から「日本の棚田百選」認定された。

さらに、平成27年にはアメリカニュース専門チャンネルCNNの「日本の最も美しい場所31選」にも選定され、国際的にも評価を受けている棚田である。

中山間地域直接支払の集落協定や多面的機能支払の保全会とともに、農道・水路等の保全活動や棚田の石垣の保全管理に長年にわたって取り組んでいる。



令和5年度創設

畑地化を支援する新たな事業が創設されました

1 はじめに

広島県では、これまでキャベツやレモンをはじめとした園芸作物の導入を推進してきたところです。

この度、畑地化を支援する国庫補助事業「畑作等促進整備事業」が創設されました。本事業により、暗渠排水・土層改良のほか基盤整備と併せた農業用ハウスの設置等、畑地化に向けた様々な支援が受けられることとなりますので、是非、ご活用ください。

2 畑作等促進整備事業（国庫補助事業）

【事業概要】

畑作物・園芸作物の生産向上のための畑地かんがい施設の整備や区画整理、農道整備、水稻から畑作物・園芸作物への作付け転換に必要な排水改良やパイプライン化等の基盤整備をきめ細かく機動的に支援します。

【事業の内容】

ハード：区画整理、暗渠排水、農業用排水施設 等

ソフト：高付加価値農業施設支援（農業用ハウス含む）、新植・改植支援、幼木管理支援 等

【実施要件】

- ・ハード事業費200万以上、農業者2者以上
- ・受益地内の全農地で水稻以外の作物を作付け 等

【その他】

- ・事業実施以後は受益地全てが水田活用直払支援交付金の対象外
- ・受益地内で過半を占める水稻をすべて水稻以外に転換した場合は、別途推進費を交付

畑地帯のきめ細やかな基盤整備や水田地域の作付け転換に向けた支援



畦畔除去



暗渠排水



農業用ハウス

野菜・果樹等への転換



3 農地整備に活用可能な主な補助事業一覧

畑作等促進整備事業のほかにも目的や規模に応じて以下の補助事業の活用ができます。

【主な農地整備事業（団体営）】

項目	畑作等促進整備事業	農地耕作条件改善事業	
		①地域内農地集積型	②高収益作物転換型
事業内容	区画整理、暗渠排水、農業用排水施設、農業用ハウス※ ₁ 等	区画整理、暗渠排水、農業用排水施設 等	左記に加えて 高収益作物導入のための技術研修、農業用ハウス※ ₁ 等
実施要件	総事業費 200 万円以上 農業者 2 人以上 受益地内の全農地で水稻以外の作物を作付け 生産額の増加等を実現 等	総事業費 200 万円以上 農業者 2 人以上 地域計画策定区域等 農地中間管理機構を介した 担い手への集積の向上 等	左記に加えて 受益農地の作付面積のうち 1 / 4 以上を新たに高収益 作物に転換
補助率	国 50%（中山間等 55%）	国 50%（中山間等 55%）	
農家負担軽減	作付転換支援 12.5% 等 受益地内の全ての水稻を畑作物に転換した場合	—	高収益作物導入推進費 ハード事業の最大 12.5% 水田活用の直接支払交付金の 対象外となる場合

※1 区画整理等と合わせて実施

【主な農地整備事業（県営）】

項目	農地中間管理機構関連農地整備事業	農地競争力強化基盤整備事業
事業内容	区画整理、暗渠排水、農業用排水施設 等	区画整理、暗渠排水、農業用排水施設 等
実施要件	受益面積：10ha（中山間 5ha）以上 受益地内の全ての農地について 15 年以上の 農地中間管理権を設定 収益性 20% 向上 受益地内全ての農地を担い手へ集積し、事業 完了後 5 年以内に集団化 80% 以上 等	受益面積：20ha（中山間 10ha）以上 事業対象農地の担い手への農地集積率が事業 完了後に 50% 以上 等
補助率	国 50%（中山間等 55%）	国 50%（中山間等 55%）
農家負担軽減	機構集積推進事業 12.5%（中山間等 7.5%）	中心経営体農地集積促進事業 最大 12.5% 担い手の集積 85% 以上・集約化 80% 以上の場合等

4 おわりに

広島県では、今回紹介した農地整備事業により畑地化を推進するとともに、スマート農業の実装が可能となる基盤整備を進めていくこととしています。こうした取組により、担い手の経営が安定し、生産性の高い持続可能な農業の確立につながっていくものと考えています。

詳細な事業要件や補助率等につきましては、各市町の農地整備担当課にお問い合わせください。

お問合せ先 広島県農林水産局農業基盤課 ☎ 082-513-3648（ダイヤルイン）
E-mail nounouki@pref.hiroshima.lg.jp

令和5年度「ため池に係る技術研修会」開催

広島県には令和3年度の診断結果を基に算出される劣化評価C又は豪雨評価Cのため池が約3,000池存在すると考えられ（廃止ため池除く）、今後、これらため池について、計画的に改修工事を進めていくことになります。そこで、水理学・土質工学の知識を必要とするため池について、農業農村整備関係職員の基礎知識向上を目的に、広島県主催で「ため池に係る技術研修会」が開催されています。

本研修会では、「ため池整備の概要」、「土質・地盤調査について」、「ため池施設整備の手法について」、「コンクリートの劣化と耐久性について」の全4回が予定されており、第1回は72名、第2回は69名（いずれもWEB参加者含む）が参加され、技術力向上を図っています。今後も「ため池施設整備の手法について」、「コンクリートの劣化と耐久性について」の研修会開催が予定されています。

是非、ご参加ください。



進藤金日子参議院議員の国政報告と意見交換会

令和5年7月8日（土）、9日（日）の2日間にわたり、安芸高田市、庄原市の5会場で、進藤議員による国政報告と意見交換会が開催されました。

1日目は、農地の基盤整備事業を実施する安芸高田市の原山、鍋石、すだれ、火の谷地区の土地改良区並びに担い手となる営農組織の代表者の皆さんに対し、進藤議員より最新の農業農村整備事業に関する報告の後、出席した土地改良区から農業用水利施設の保全管理の課題、担い手からは持続可能な農業経営に対する意見が数多く寄せられ、進藤議員は今後とも課題解決に向けて取り組んでいくことを強く述べられました。

2日目は、県内で最初に農地中間管理機構関連農地整備事業に取り組んだ庄原市の田口地区、畑地帯総合整備事業で整備した和南原地区キャベツ団地を視察され、参入企業の代表、広島県酪農業協同組合関係者と庄原市の農業について意見交換が行われました。最後に、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進に取り組む庄原市山内地域の組織代表らとそれぞれの課題について意見交換が行われました。



土地改良区のみなさんへ

令和5年度

会計・法律相談会の開催について

土地改良施設を管理する土地改良区は、原則として貸借対照表の作成が義務付けられています。広島県土地改良事業団体連合会では、本年度も引き続き会計指導員が巡回指導により、複式簿記（単式簿記による一括）による貸借対照表の作成支援を行います。また、研修会や会計専門家による複式簿記相談会を計画しています。



また、近年の複雑化・高度化する土地改良事業（土地改良法）に関する諸問題に対応するため、令和5年度から弁護士による法律相談会を開始しますので、困りごとがありましたら気楽にご相談ください。

※これまであった相談

（賦課金の未払い・滞納処理、土地改良区の運営、土地境界争い・不法占用等）

【相談日】

◆税理士による簿記相談会（原則、毎月20日（休日は翌日））

◆弁護士による法律相談会（原則、毎月第2水曜日）

※要事前予約となります。

ご希望の方は、下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

ご相談・お問合せ先 水土里ネットひろしま総務部総務企画課
TEL 082-502-7470 FAX 082-502-7480 E-mail soudan@hdn.or.jp

「ため池管理者研修」が放送されました

令和5年6月28日（水）に、広島県ため池支援センターが三次市で開催した「ため池管理者研修」の状況をNHK広島が取材し、同日の「お好みワイドひろしま」で約2分間にまとめて放送されました。



第22回

ひろしまの農村 フォトコンテスト

応募締切

※当日消印有効

2023年 12月28日(木)

写真は第21回「ひろしまの農村フォトコンテスト」入賞作品になります。



最優秀賞「里山の秋」



優秀賞「田仕舞い」



優秀賞「豊作を願って!!」



最優秀賞

1点

10,000円相当の県内特産品



優秀賞

2点

5,000円相当の県内特産品

広報委員会特別賞

10点

3,000円相当の県内特産品

過去の入賞作品について
QRコードからどうぞ



Instagramを開設しました!!



👉 QRコードからどうぞ

ユーザー名

“@hiroshima_nnkoho”

または、“ひろしま農業農村整備
広報委員会”で検索が可能

応募点数は1人5点までとします!
スマホ・デジカメから撮った
写真データの応募もOK



主催: ひろしま農業農村整備広報委員会 (広島県・広島県土地改良事業団体連合会)

後援: ◆中国新聞社 ◆NHK広島放送局 ◆中国放送 ◆テレビ新広島 ◆広島テレビ ◆広島ホームテレビ
◆日本農業新聞中部西日本統括支所中国四国支所 ◆JAグループ広島 ◆(株)フジカラー広島中央

季刊 ひろしまの土地改良 第273号

令和5年7月15日

編集: ひろしま農業農村整備広報委員会
発行: 広島県土地改良事業団体連合会
印刷: 佐々木印刷株式会社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館

◆TEL (082) 502-7470

◆FAX (082) 502-7480

◆http://www.hdn.or.jp

住みやすく豊かな村づくり
みどり 水と土里ネットひろしま